

「第三期情報提供ネットワークシステムのアプリケーション保守・運用の請負」関連仕様書等の意見招請に対する回答

連番	意見内容			理由(意見の場合のみ記述)	回答
	質問/意見	頁	項目名		
1	質問	8	03a. 調達仕様書(案).pdf 1. 調達条件の概要 1.7 スケジュール 表5 想定スケジュール	MWS保守・運用の時期設定の考え方をご指示ください。 具体的には令和6年6月下旬～令和6年11月までの引継期間の設定を、令和7年12月～の保守・運用開始の設定を指示ください。	第三期情報提供ネットワークシステム関連の作業として、前期の繁忙期(6月下旬)は終了し、次の繁忙期が11月以降から始まる想定されるため、その間に受注者において仕様調整を行う必要がございます。また、11/1にMWSの稼働事業者から運用・保守を引き継ぐ予定となります。
2	質問	13	03a. 調達仕様書(案).pdf 4.2 運用保守環境 表8 運用保守拠点の種別	BORの有効活用について、提案させていただいた余地がございますでしょうか？ 例えば、業務運用は主にBOR、基盤運用は主にORを使用する等、運用環境が異なるORを有効活用するための提案が許容されるかご指示いただきたい次第です。	表8の通り、BORは基本的にORが使用不可の際にMWS運用を行う拠点という想定です。ただし、活用手段について事業者様からご提案いただく余地もございます。
3	意見	23	03a. 調達仕様書(案).pdf 4. 作業の実施内容に関する事項 4.2 運用保守環境 ③(運用に必要な計器・機器等の準備)① ネットワーク環境	「総合テスト」の期間はいつになりますでしょうか。 ※担当箇所に関する計器の管理があるが、別掲は役割分担表であり、「総合テスト」の期間がいつかは記載がございませんでした。	下記の通り修正します。 4.2(イ)②(イ)ネットワーク環境を、設計・開発事業者が情報提供ネットワークシステム内の稼働を目的に実施する総合テスト(3月上旬から8月下旬)に実施予定の期間中に整備してネットワーク環境が問題なく利用可能であることを確認し、外部機関との接続検証を目的に実施する総合テスト(開始時期:令和6年8月末～開始予定)に間に合わせることを。(図3 全体想定スケジュール参照)
4	意見	24	03a. 調達仕様書(案).pdf 4. 作業の実施内容に関する事項 4.3 移行準備 ②(運用の教育及び引継ぎ)	「継情報や移行前データ等、設計・開発事業者に引継ぎ前の状態を保持するべき」を検討する事項が発生した場合は、状況に応じて主幹組織及び設計・開発事業者と検討し決定することについて、詳細をご指示ください。また、必要となる準備・制約事項があれば、ご指示ください。	引き継ぎ期間は設計開発の期間でもあることから、該当の記載と一致して、具体的な状況が見込まれた際、検討することとしています。
5	意見	26	03a. 調達仕様書(案).pdf 4. 作業の実施内容に関する事項 4.2 運用保守環境 (4) 作業支援ツールの導入等 ⑤ ツールが満たすべき基準	⑤ サプライズについて、詳細の記載をご検討いただけますでしょうか。	詳細が不明なため
6	意見	43	03a. 調達仕様書(案).pdf 6. 作業の実施体制・方法に関する事項 6.1 作業実施体制と役割 表21 受注者に求める作業実施	「② 統括責任者及びグループごとの責任者の設置」という記載がありますが、グループごとの責任者の設置についての説明がないため、確認いただけますでしょうか。	条件明確化のため
7	質問	43	03a. 調達仕様書(案).pdf 6. 作業の実施体制・方法に関する事項 6.1 作業実施体制と役割 表21 受注者に求める作業実施	「情報セキュリティ責任者」の設置は必要でしょうか？ (表に情報セキュリティ責任者の説明はあるが、設置についての記載がないため)	6.1(2)③に示す通り、設置は必要です。
8	質問	33	03a. 調達仕様書(案).pdf 4.6 システム基盤保守(基盤保守)	①システムを構成するクラウドサービス設定(およびリソース定義コード)についても本受注者の保守対象となる想定ですが、 ②本システムにおいてWindows基盤、AIX 基盤は含まれない想定ですが、認識相違ございませんでしょうか。	①、②とご認識の通りです。
9	質問	50	03a. 調達仕様書(案).pdf 7. 作業の実施に当たった際の遵守事項 7.6 作業実施体制と役割 ② システム基盤の提供規定	本受注者が提供対象となるシステム基盤として、想定する対象をご指示ください。	受注者による直接提供の対象となるシステム基盤は該当しないため、削除します。
10	質問	1	別紙 03d(別紙3). 管理対象資産一覧.pdf	管理対象資産として、プログラム以外のクラウド環境のリソース定義ソースコードも対象として含まれる想定で良いでしょうか。	ご認識の通りです。
11	質問	23	03a. 調達仕様書(案).pdf 4. 作業の実施内容に関する事項 4.2 運用保守環境 ③(運用に必要な計器・機器等の準備) 表12 現時点で導入が想定される計器・機器等一覧	導入が想定される計器・機器等一覧において、金庫の項目がありますが、当該金庫の鍵等を管理するためのキーボックスについて必要な導入が必要となる想定ですが、認識相違ございませんでしょうか。	ご認識の通りです。
12	意見	調達仕様書(案) P18	表9 想定する会議体	項番8に記載の突発支援事業者については、本業務推進に際して連携の必要と認識していただき、P18「突発の連携体制」にて突発支援事業者に関する体制・役割等記載をご提案します。	体制・役割について記載します。
13	質問	調達仕様書(案) P26	表8 納入成果物 表16 成果物一覧	項番31 年度保守計画書の納入期限「令和6年度分は同年12月まで」とは「令和6年度分は同年12月まで」と考えて宜しいでしょうか。	ご認識の通りです。文章を修正いたします。
14	意見	調達仕様書(案) P43	② 統括責任者及びグループごとの責任者の配置	体制検討に際し、具体的なグループ単位構成について記載をお願いします。	体制検討のため
15	意見	38	5.1 SLA項目	本システムで発生する障害は、ガバナメントクラウドである基盤側を起因としたものが含まれると認識しています。 この基盤起因とした障害については、SLA評価の対象には含めないことを明記すべきかと考えます。	SLAの明確化のため
16	質問	38,39	5.1 SLA項目 表18 SLA項目および ②(問い合わせ～次回回答時間)重大な緊急のものに限る)	表18 SLA項目の項番2にて、達成すべき値として「受付後24時間以内(営業日を対象として算出)」と記載されていますが、39頁の②では、問い合わせ～次回回答時間が「営業日以内」となっています。SLAとしてどちらが適用されるかご指示いただきたいです。	「受付後24時間以内(営業日を対象として算出)」が適用されます。 問い合わせ～次回回答時間の考え方の詳細については、5.1(2)③、④の起点、終点および問い合わせ～次回回答時間の考え方をご指示ください。
17	質問	1	別紙7. 施設要件	執務エリアには監視カメラを設置し、デジタル庁から指示があった際は当該映像を提出できるような映像データを保存することとなりますが、映像データの保存期間は1年間という認識でよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。
18	質問/意見	1	別紙7. 施設要件	オペレーションルームについて、設置場所に関する要件が記載されていますが、場所については日本国内であればよいという理解でよろしいでしょうか。もし、場所に関する要件がございましたら仕様書に記載いただきたく存じます。	オペレーションルームの選定・検討に必要なため
19	質問	22	4.2 運用保守環境 表12 現時点で導入が想定される計器・機器等一覧	受注者側で用意した業務端末や運用端末等のハードウェアについて、本案件契約終了後に廃棄となる認識でよろしいでしょうか。その場合、事業者側で廃棄作業を実施する想定でしょうか。また、廃棄作業実施の際、データ消去証明書の提出は必要でしょうか。	契約期間中、受託事業者の負担と責任で廃棄作業を実施ください。 方法については、調達仕様書の下記項目に示す内容に、「廃棄時のデータ消去方法については、廃棄不可能な方法での消去や物理破壊、エビデンス取得等について受注者側と検討を行い、デジタル庁の承認を得た方法を探ることとさせていただきます。 -4.2(3)ウ -7.3(イ) -7.3(ロ) -7.3(ハ)
20	質問/意見	13	3.2 運用保守拠点 表8 運用保守拠点の種別	バックアップオペレーションルームは責任が指定すると記載がありますが、場所や施設の情報については受託後直ちに受託事業者へ開示されるという認識でよろしいでしょうか。また、実入れば、バックアップオペレーションルームの設置場所もしくはエリアをご指示いただけますと幸いです。	バックアップオペレーションルームのネットワーク回線敷設にあたって、早期の調査が必要のため
21	意見	13	01a. 調達仕様書.pdf 2.1 調達期間 ①システム全体構成の観点での調達期間	作業スコープを明確に分けられるように、調達期間表 4 本業務における組織等の役割と合わせて特殊サーバ等はMWSとは別の表に記すべきではないかと考えます。	作業スコープ明確化のため
22	質問/意見	41	01a. 調達仕様書.pdf 5.1. SLA項目	駆けつけ時間(時間以内)に間に合わないかと考えます。 どのレベルにおける駆けつけの可否を再確認いたします。 運用事業者による1次切り分けの時間の問題ないかご指示いただけますと幸いです。	運用事業者による1次切り分けの時間ではございません。 運用事業者による1次切り分けを実施した結果、保守担当者の情報提供ネットワークシステム運用施設(OR)への駆けつけが必要と判断された時点で始動し、保守担当者が対応に到着した時点で終点とし、終点から終点までの時間が1時間以内に収まることと要件となります。
23	意見	4	4.6 システム基盤保守(基盤保守)	受注者は、ミドルウェア事業者が調達したソフトウェア及び受注者が導入する端末に導入するソフトウェアや作業支援ツール、ネットワーク機器等に対する保守作業を行うこと。また、Linux 基盤、Windows 基盤、AIX 基盤であり、ミドルウェアについては資料に基づき確認可能。	基盤アプリケーションがオンプレクラウド型に近い為、情報システム脆弱性の危険性が高い。デバイス層の感染も兼ね、国際標準のAIXシステムを再検証をお願いします。OSはLinux 基盤、Windows 基盤、AIX基盤がマイクロソフトでWindowsサーバはAIX基盤後、修復も可能です。